

対象地域：山梨県

再生課題：森林の再生、景観の再生



た ま がわ げんりゅう
多摩川源流自然再生協議会

**再生
目標**

多摩川源流域の河川、森林、里山、里地その他の自然環境を保全・再生・創出し、その状態を維持管理することを通して、自然と共生する社会の実現を目指す。

- 事務局
山梨県小菅村多摩川源流研究所
- 対象地域
山梨県小菅村の多摩川流域
- 協議会：H16. 3. 5 設立
- 全体構想：H20. 3. 21 策定
- 実施計画：検討中

(R6. 3現在)



本地域は、秩父多摩甲斐国立公園に指定されており、豊かな自然が残されています。しかし、スギやヒノキなどの人工林は管理不足によって、表土の流出などが進んでおり、シカの食害も増加し、国土の保全や生物多様性の確保の見地から重大な問題となっています。

そこで、本協議会では、多摩川の自然環境を再認識するとともに、優れた自然環境や自然と共生する人の営みを保全し、失われた環境は再生し、源流本来の機能を保ち、村人の暮らしと共に持続可能な源流らしい郷を構築するために、流域の様々な分野の主体と流域パートナーシップを確立して連携・協働して取り組んでいます。



村をフィールドに住民が講師となる「多摩川源流大学」の推進

自然再生の手法

- 「源流らしさ、小菅らしさ」の里づくり
- 「安全で健康で豊かな」源流の里づくり
- 「自然に学び、自然と共生する」資源循環型の里づくり



大学生や地域住民が参加した景観ワークショップの様子